

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	滋賀県近江八幡市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	近江八幡市文化資産活用事業実施計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
「近江八幡市文化振興条例」（平成26年3月25日、条例第3号）を基本とし、「近江八幡市・安土町の新市基本計画」（平成21年5月策定、計画の期間：平成21年度～平成31年度）、「近江八幡市文化振興基本計画」（平成28年3月策定、計画の期間：平成28年度～平成37年度）、「歴史遺産を活かしたまちづくり（近江八幡市歴史資産活用検討委員会報告）」（平成25年3月策定）、滋賀県離島振興計画（計画の期間：平成25年度～平成34年度）等の関係する条例や関係する計画を踏まえ、先人たちの営みによって築かれた文化が市民共有の財産としてわかちあわれ、次世代に引き継がれるよう各種の事業を実施して行く。 文化振興条例のURL→http://www.city.omihachiman.shiga.jp/reiki_int/reiki_honbun/r389RG00001286.html 新市基本計画のURL→http://www.city.omihachiman.shiga.jp/cmsfiles/contents/0000010/10472/keikaku.pdf 文化振興基本計画のURL→ http://www.city.omihachiman.shiga.jp/cmsfiles/contents/0000010/10549/Basic_plan_for_promoting_culture.pdf 離島振興計画のURL→http://www.pref.shiga.lg.jp/b/shichoson/files/20140204.pdf			
6 実施体制			
本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は、近江八幡市総合政策部文化観光課が行う。また、補助事業は、近江八幡市文化資産活用実行委員会（構成団体：（株）まっせ、武佐宿の会、NPO法人景観と文化研究会、）が実施する。			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 62,860 千円	平成30年度申請額： 2,747 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
歴史資産は、市域全体にわたって広く分布し、その多くは市民生活に密着し今に伝えられている。それらの保存活用については、市民（住民）等が身近な歴史資産を生活の場所の一部として再認識し、住民全体で保存・管理を行い、自らのまちづくりに活用できるような環境づくりが必要と考えられる。そのためには、行政と地域住民はもとよりNPO法人・民間企業等と協働した文化財保護体制の確立と、まちづくりの視点から歴史資産の活用を検討していく必要がある。 本事業を実施し歴史資産をまちづくりに活かすことによって、日本人としての歴史アイデンティティを感じつつ、心の安寧、心のよりどころを得られる都市づくりに寄与できるほか、新市基本計画にある平成32年度における推計人口80,652人達成に寄与することができる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	なし		
事業概要：	なし		
事業概要：	なし		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
特になし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	近江八幡市総合政策部文化観光課文化振興グループ		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1：	地域の祭礼行事等への入込客数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1：	県選定無形民俗文化財である「左義長まつり」「八幡まつり」「篠田の花火」の観光入込客数			関連事業：	①	
目標値 1：	平成 24 年度 98,500 人 ⇒ 平成 33 年度 98,500 人					
設定根拠 1：	観光入込客数が減少傾向にある中、「近江八幡市観光振興計画」にあるとおり現状維持とする					
進捗状況 1：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2：	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2：	地域に誇りを感じる住民の割合（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2：	アンケート調査における近江八幡市の文化・芸術の水準が「高い」「やや高い」の回答率			関連事業：	② ④ ⑤ ⑦	
目標値 2：	平成 27 年度 8.9 % ⇒ 平成 33 年度 15 %					
設定根拠 2：	急激な増加は不可能であるので毎年 1 % の増加とする					
進捗状況 2：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 3：	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3：	その他（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 3：	沖島島民の人口			関連事業：	⑥	
目標値 3：	平成 28 年度 286 人 ⇒ 平成 33 年度 286 人					
設定根拠 3：	年々減少傾向にある中、減少に歯止めをかける。（現状維持）					
進捗状況 3：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4：	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 4：	その他（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 4：	重要文化的景観である「近江八幡水郷めぐり」の利用者			関連事業：	③	
目標値 4：	平成 28 年度 96,725 人 ⇒ 平成 33 年度 100,000 人					
設定根拠 4：	ガイドツアーを育成し「近江八幡水郷めぐり」の利用者の増加					
進捗状況 4：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	近江八幡の松明紹介アプリ製作事業	実施団体：	近江八幡市文化資産活用実行委員会		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	近江八幡市内60集落で取り組まれる火祭りで製作される「松明」について、誰でも簡単に情報にアクセスできる、スマホアプリ「近江八幡の松明（仮）」を制作し、市内外における地域の文化遺産の情報発信事業に取り組む。				
評価指標区分：	・アプリ等のダウンロード数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	近江八幡の火祭りアプリダウンロード数				
目標値：	平成 28 年度 0 件 ⇒ 平成 33 年度 4,000 件				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
件	件	件	件	件	件
事業②：	なるほど武佐宿まるわかり事業	実施団体：	武佐宿の会		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度		
事業概要：	中山道を中心とした街道に域内文化遺産の所在地や説明を記載した総合案内看板（説明書き含む）を設置する事業に取り組む。				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	中山道武佐宿の来訪者に対してアンケート調査を実施し、再度訪れたい街であると回答を得た率				
目標値：	平成 29 年度 60 % ⇒ 平成 33 年度 80 %				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
%	%	%	%	%	%
事業③：	近江八幡の水郷風景翻訳家育成事業	実施団体：	近江八幡市文化資産活用実行委員会		
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	重要文化的景観「近江八幡の水郷」において、時代を超え存続してきたヨシ産業などの生業や、内湖と共生する地域住民の暮らしぶりを記憶と記録に残し、風景を翻訳する地域独自の文化的景観のボランティアガイド「水郷ガイド」の育成をする。				
評価指標区分：	・ボランティアガイド利用者数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	ガイドツアー利用者数				
目標値：	平成 28 年度 0 人 ⇒ 平成 33 年度 500 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

事業④：	ヨシ問屋「西川嘉右衛門家」及び「旧北川茂左衛門家」公開事業					実施団体：	NPO法人景観と文化研究会				
事業区分：			普及啓発			事業期間：		平成 28 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：			重要文化的景観「近江八幡の水郷」の中心地である円山町あるヨシ問屋「西川嘉右衛門家住宅」の特別公開事業を行なう。また、同じ町内にある「旧北川茂左衛門家住宅」の建物調査を行い、所有者及び専門家を交えてその利活用について提言を行う。								
評価指標区分：			・その他						(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：			西川嘉右衛門家住宅特別公開入館者数								
目標値：			平成 28 年度 50 人			⇒		平成 33 年度 200 人			
進捗状況：			各年度、状況値、目標に対する達成率								
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業⑤：	近江八幡市西の湖周辺民具調査					実施団体：	NPO法人景観と文化研究会				
事業区分：			調査研究			事業期間：		平成 28 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：			旧安土町北川家所蔵の民具及び近江八幡市円山町にある西川嘉右衛門家所蔵のヨシ問屋に係る民俗資料及び歴史資料の一部を調査研究し、データー化する。また、地元住民を対象とした展覧会やフォーラムも開催する。								
評価指標区分：			(リストから選択してください。)						(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：			(具体的な指標を記載してください。)								
目標値：			平成 年度 (単位)			⇒		平成 33 年度 (単位)			
進捗状況：			各年度、状況値、目標に対する達成率								
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)						
事業⑥：	離島「沖島」の伝統行事継承記録作成事業					実施団体：	沖島学区まちづくり協議会				
事業区分：			記録作成			事業期間：		平成 年度 ～ 平成 年度			
事業概要：			伝統行事継承の為、日本でただ一つ湖に人が暮らす沖島で現存する住民の人々に聞き取り調査を実施し昔の地域の姿を正しく記録再現し記録本&DVD（動画等）&ふるさと絵屏風を作成すると共にインターネット（ホームページ等の）を追加する。								
評価指標区分：			・その他						(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：			島民の人口（維持）								
目標値：			平成 28 年度 286 人			⇒		平成 33 年度 286 人			
進捗状況：			各年度、状況値、目標に対する達成率								
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						

事業⑦：	常楽寺歴史文化風景記録作成事業			実施団体：	常楽寺ふるさと絵屏風実行委員会		
事業区分：	記録作成			事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度		
事業概要：	住民の記憶からも失われつつある地域の伝統的文化や景観を次世代が一目で理解継承できる記録作成事業を、日本伝統の絵屏風という手法で完成させる。						
評価指標区分：	・ 記録映像の貸し出し（又は利用）回数等				（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	屏風貸出回数（いつ、どこに、期間）を貸出申込書で管理する、返却時にアンケートを回収集計記録する。						
目標値：	平成 29 年度 8 日 ⇒ 平成 33 年度 60 日						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
日	日	日	日	日	日	日	